



宇部市のコミュニティ・スクールと地域学校協働活動

宇部市では、コミュニティ・スクールの活動と地域学校協働活動を一層充実させていくために、3つの柱と8つの重点項目を設定し、取組を進めていきます。

1 地域学校協働活動の推進

- (1) 総合的な学習の時間を核とする学校・地域連携カリキュラムに基づいて、児童生徒の地域貢献意識の向上を図る学習を確実に実践する。そして、その成果と課題を踏まえた改善を行い、教育・協働活動を一層充実させる。
- (2) 「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進を図る。そのために、教職員や保護者、地域住民のコミュニティ・スクールに係る研修会や学校・地域行事への参加を促進し、理解浸透に努める。
- (3) 小中連携を中心に、幼・保、高校、大学等の異校種間や幅広い世代との連携を進める。高校生や大学生等が学校・地域の様々な活動に参画できる仕組みづくりや、児童生徒を主体とした教育・協働活動の活性化を図る。
- (4) 地域住民が学校を日常的に訪問し、児童生徒と交流し活動する機会を積極的に設定する。そして、「大人の学び場」として地域住民と児童生徒がともに学び、よりよい協働活動が展開される学校づくりを進める。
- (5) 学校と地域学校協働活動推進員が一層連携を深める。また、地域学校協働本部（社会教育推進委員会）を主体として地域諸団体等との連携・協働体制を確立、強化することにより、協働活動の拡充に努める。

2 学校運営協議会による協働活動の活性化

- (1) 多様な形態で、幅広い学年の児童生徒が熟議に参加・参画する方法を工夫する。学校と地域が一体となって、組織的に学校・地域の課題解決に向けた協働活動を実践する。
- (2) 女性や若手を含めた地域人材の育成に努め、多様な人材が熟議・協働活動に参画することで、取組を一層推進していく。

3 保護者・地域に届く情報発信の充実

- (1) 学校ホームページやシグフィ等 SNS の活用による周知方法を一層工夫する。さらに、ふれあいセンター等での掲示により情報発信を積極的に行うことで、コミュニティ・スクールの取組に対する保護者・地域住民の理解促進を図る。